

北杜

2017
Vol. 49

議会だより



市内にある国・県・市指定の文化財をシリーズで掲載します。
今号は須玉町にある県指定天然記念物『遠照寺のアカマツ』です。

12月定例会

8つの杜づくり (予算総額342億円に) ②

委員会レポート ④

市長の所信表明 ⑥

会派代表質問 ⑦

一般質問 ⑮

【声のひろば】 ⑲

北杜市ウォッチング ⑳



第4回定例会は、12月7日から26日まで
の20日間の会期で開催し、市長提出の平成
28年度補正予算4件、条例制定・改正6件
同意、諮問、その他など計79件を審議し、
原案のとおり可決、同意しました。
また、請願1件を審議し、不採択としま
した。

けて新たな出発

6億6,894万円補正増額

＝予算総額は342億5,509万4千円に＝

一般会計補正予算

一般会計(第4号) 6億6,894万円

おもな補正財源

・国庫支出金	2億1,918万円
・県支出金	2億 519万円
・地方交付税	1億1,503万円
・市債	1億1,110万円

特別会計補正予算

新エネルギー(第1号)	520万円
下水道(第2号)	297万円
介護保険(第2号)	93万円

※全員賛成で可決

おもな使いみち

・団体営土地改良事業費	2億6,000万円	農地耕作条件改善事業
・臨時福祉給付金事業費	2億 15万円	消費税引き上げの再延期に伴い、低所得者等へ暫定的・臨時的に支給
・農地農業用施設災害復旧事業	2,150万円	台風16号により市内の農業施設に被害が発生したための災害復旧
・県単耕作放棄地等再生整備支援事業	700万円	耕作放棄地の防止や解消を推進するため、農地の有効利用を図る農業基盤整備

条例

- ▼農業委員候補者選考委員条例の制定
- ▼農業委員会の委員及び農地利用最適化推進委員の定数に関する条例の制定
- ▼税条例の一部改正
- ▼国民健康保険税条例の一部改正
- ▼職員定数条例の一部改正

※全員賛成で可決

▼議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例等の一部改正

反対討論 清水 進

議員の報酬は性質上独自に決めるべきであり、人事院勧告に準拠し市職員と同様に引き上げるのは適当でない。

賛成討論 加藤 紀雄

総務常任委員会は可決であり、委員会の結果を尊重すべきである。

反対討論 池田 恭務

人事院の調査内容は、大企業の比率が非常に高く民間の給与を反映していない。

賛成討論 内田 俊彦

民間受けをするなら議員報酬等を少なくするものが財政削減になるが生活が成り立たない。総体的な人事院勧告を鑑みた値上げは当然である。

※賛成17、反対4で可決

補正予算 一般会計

反対討論 池田 恭務

議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例等の一部改正の補正予算が含まれているので。

賛成討論 内田 俊彦

条例の一部改正は可決された。また、臨時福祉給付金等が含まれる妥当な補正予算である。

※賛成19、反対2で可決

指定管理者の指定

(平成29年4月1日)
(平成34年3月31日)
▼須玉町ティサービスセンター
(株) やさしい手甲府

※この他17施設を審議し
全員賛成で可決

8つの柱づくりに向け 未来へ向けて着実な歩み

その他

- ▼農地耕作条件改善事業
高根東部地区土地改良
事業計画の議決
- ▼字の区域の変更
（須玉町江草）
- ▼字の区域の変更
（白州町大武川）
- ▼不動産の処分について
（みずがきそば処）

※全員賛成で可決

同意

- ▼財産区管理委員会
朝神財産区管理委員会
委員の選任ほか36件の財
産区管理委員会委員の選
任に同意し、248人が
選任されました。
- ▼教育長
堀内 正基（長坂町）



- ▼教育委員
進藤 玲子（小淵沢町）
- ▼固定資産評価審査委員
小宮山幹夫（高根町）

諮問

- ▼人権擁護委員の候補者
の推薦
祝 とよ子（長坂町）
氏原 宏幸（白州町）
原 哲也（白州町）

- ▼副市長
菊原 忍（高根町）



反対討論

池田恭務
先ほどの質疑のとおり
で、副市長候補の方の判
断材料がない中で賛成す
ることは困難である。

賛成討論

内田俊彦
行政職に携わり現在、
企画部長であり選任にふ
さわしい。

賛成討論

加藤紀雄
行政経験が長く、市長
とともに職員をまとめ行
政執行をしていく、副市
長として最適な人である。
※賛成20、反対1で同意

選挙

- ▼選挙管理委員
坂本 洗二（須玉町）
植松 好義（高根町）
小宮山福五（長坂町）
進藤 忠衛（小淵沢町）

選挙

- ▼選挙管理委員補充員
浅川 一宏（白州町）
小林 一稜（武川町）
福田 紘（明野町）
浅川 敏郎（大泉町）

請願

介護保険の給付縮小・
負担増を中止し、充実
を求める意見書提出を
求める請願

請願

- ▼請願者
山梨県社会保障推進
協議会会長
飯塚 讓
- ▼紹介議員
清水 進

反対討論

保坂多枝子
介護保険の充実を望む
市民の意見は聞いてはい
るが事実と論旨が、かけ
離れ、しっかりと審議しな
ければならない。

賛成討論

志村 清
政府の介護保険制度に
反対の声を国に意見書と
してあげることが重要。

反対討論

内田俊彦
恒久的な介護保険制度
を確立するには、一部分
の検討では、破たんして
しまう。

賛成討論

清水 進
先に財政ありきで社会
保障予算の自然増を削る
やり方を考え直させたい。
※賛成10、反対11で不採
択



賛否のあった議案（議長を除く）	栗谷 真吾	池田 恭務	秋山 真一	進藤 正文	藤原 尚	清水 敏行	井出 一司	志村 清	齊藤 功文	福井 俊克	加藤 紀雄	原 堅志	岡野 淳	相吉 正一	清水 進	野中真理子	坂本 静	保坂多枝子	千野 秀一	内田 俊彦	秋山 俊和	結果
議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例等の一部を改正する条例	×	×	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	可決
平成28年度北州市一般会計補正予算(第4号)	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
副市長の選任について	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意
介護保険の給付縮小・負担増を中止し充実を求める意見書提出を求める請願	○	×	×	×	×	○	×	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	不採択

委員会レポート

＝ 審議のあらまし ＝

総務

常任委員会

付託された事件2件を審査した。

おもな審議内容は次のとおり。

■議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例等の一部改正

問 議員報酬と職員給の条例が一括で議案になっている理由は。

答 引き上げ率が同じで、理由が民間較差の是正であるため一括とした。

問 議員に対する期末手当は0.1カ月となるが、額としては平均でどのくらいか。

答 議長、副議長、議員により異なり、今回は改選に伴い退職した議員は0.8、新たな議員は0.3を乗じる。

反対討論 清水 進

職員は人事院勧告に基づいているが、議員は人事院勧告に触れていない。病院勤務者や福祉関係者など民間でも大幅に給与等が上がっていない状況である。

賛成討論 内田俊彦

議員報酬は平成16年度の決定から他市と比べると5万円低く、現在は県内で2番目に低い。市民ニーズを把握する活動を行うには、議員報酬は必要となる。

賛成討論 加藤紀雄

人事院勧告および県の勧告により改正するもので、特別な理由なく勧告を崩すことは問題であり、将来にも影響する。議員の評価は活動の中で決まるものであり、報酬に見合う活動を行うことが重要である。

※賛成6、反対1で可決

■条例の一部改正

問 国際運輸業の定義とは。また、納税額は申告に基づき掌握するのか。

答 国際航空路または、国際航空路における輸出入の運行の事業のことである。納税額は申告により掌握することになる。

※全員賛成で可決

議会

運営委員会

付託された請願1件を審査した。

おもな審議内容は次の

とおり。

【請願】

■北杜市議会本会議のインターネット中継を早急に実現することを求める請願

議員全体に関わることであり、議会改革と絡めての検討も必要である。インターネット中継に対する問題点や効果的に配信する方法について、もつと議論を深めていく必要があり、全員協議会でも協議する必要がある。

※継続審査

文教厚生

常任委員会

付託された事件1件および請願1件を審査した。おもな審議内容は次のとおり。

■国民健康保険税条例の一部改正

問 根拠となる法律の改正の時期は。

答 平成28年3月31日に公布された。

問 条例改正により市内に対象となる方はいるのか。

答 台湾のみが指定され、市内に対象はほとんどいないと思われる。

※全員賛成で可決

【請願】

■介護保険の給付縮小・負担増を中止し、充実に求める意見書提出を求める請願

問 利用料が2割負担に拡大される対象者はどれくらいいるか。また、なぜ拡大しなければならぬのか。



答 国の委員会では、来年度の制定に向けて65歳から74歳まで利用者を原則2割負担にしようと検討している。利用料の負担拡大は社会保障費が増える状況で、高齢者が増加し自然増が見込まれる給付費を抑制するため。

問 介護サービスを利用していない被保険者からみると、利用していない給付費の負担を求められることに不満感が募るようになる。利用者の負担を増やすことは方向性として当然と考えられるが。

答 国は介護離職や介護難民を作らないため、サービスを提供する側を守るためにも保険料だけに頼るのではなく、しっかりと財源を確保し、国民が安心してサービスを利用できる制度にすべき。

反対討論 保坂多枝子

介護給付費の減少とか介護を受けられる人を抑制するだけでなく、介護離職の問題や経費負担、サービスの担い手確保などの問題も重要となるが、こうした課題を請願では

十分網羅していない。

賛成討論 志村 清

通常国会成立のため、現在、原案作成の審議を行っている最中であり、法律の改正案が決定される前にこの請願を採択すべきである。このまま給付費の負担増を抑制していくと、要介護認定を受けても3人に1人しか介護サービスを受けられなくなる状況に陥る。

※賛成3、反対3で委員長採択の結果採択

経済環境 常任委員会

付託された事件3件を審査した。

おもな審議内容は次のとおり。

- 農地耕作条件改善事業 高根東部地区土地改良事業計画の議決を求める件

問 企業参入は具体化しているのか。
答 参入希望の企業はあ



農地耕作条件改善事業高根東部地区

るが、12月末に地権者との打ち合わせにより決定される。

問 農地耕作条件改善事業の具体的な手法は。

答 この事業は県にある農地中間管理機構が地権者から一括して農地を借り受け、農業生産法人等に貸し付ける事業である。改良工事を実施し、企業参入用農地と自作用農地に区分して貸し付けを行うことになる。

※全員賛成で可決

■字の区域の変更

(須玉町江草)

■字の区域の変更

(白州町大武川)

※全員賛成で可決

第1回臨時会

11月30日から開会の第1回臨時会において、市長より提出された専決処分報告1件。また、承認1件を審議し原案のとおり承認しました。

専決処分の報告

▼損害賠償額の決定

承認

▼ひとり親家庭医療費助成に関する条例の一部改正条例の専決処分の報告及び承認

※全員賛成で承認

委員会構成

第1回臨時会において、常任委員会および議会運営委員会の委員が選任されました。

総務常任委員会

- 委員長 齊藤 功文
- 副委員長 藤原 尚
- 委員 加藤 紀雄、原 堅志、相吉 正一、清水 進、中嶋 新、内田 俊彦

文教厚生常任委員会

- 委員長 岡野 淳
- 副委員長 秋山 真一
- 委員 栗谷 真吾、清水 敏行、志村 清、保坂多枝子、千野 秀一

経済環境常任委員会

- 委員長 井出 一司
- 副委員長 池田 恭務
- 委員 進藤 正文、福井 俊克、野中真理子、坂本 静、秋山 俊和

議会運営委員会

- 委員長 秋山 俊和
- 副委員長 清水 進
- 委員 井出 一司、齊藤 功文、加藤 紀雄、原 堅志、相吉 正一、内田 俊彦

渡辺市長の所信表明

市民憲章の実現のため、 市民一人ひとりが輝ける 愛でつながる北杜市を目指します



現在策定している第2次北杜市総合計画と整合性を図り、「北杜市総合戦略」「八ヶ岳定住自立圏共生ビジョン」に基づく定住促進対策に取り組み、普通交付税の段階的縮減や平成32年度までの合併特別事業債の発行期限などを考慮し、「第4次行財政改革大綱」で税収の確保、市債の発行抑制、経常経費の削減等を進め、将来を見据えた行財政運営に努めてまいります。

私が掲げる主な施策「子育てと福祉」「雇用」「教育」「スポーツ」「女性の活躍」の5つの分野を、「第2次北杜市総合計画」における「8つの柱」と調整を図り推進してまいります。

市政の状況

1 地方創生

山本地方創生担当大臣が市内3カ所を視察し、大臣から「地域の方々と共に、地域の特色を生かしつつ、地方創生に取り組んでい」と評価していただきました。定住人口の確保を図り、誰もが暮らしやすい「愛でつながる北杜市」を築きます。

2 27年国勢調査確定値

市の総人口は、4万5,111人で、平成22年から1,857人減少。少子化による人口減少や高齢化が急速に進ん

3 地域防災力の強化

でいます。人口減少を抑制し、地域活力を維持することが重要な課題です。魅力ある地域づくりに向けた施策を着実に取り組みます。

市民の生命、身体および財産を守るためには、地域防災力の大きな役割を果たしている消防体制の充実・高度化が必要です。自動車ポンプ2台、可搬小型動力消防ポンプ14台、小型ポンプ積載車22台を更新し、各分団に車両等を引き渡ししまし

4 地域密着型サービスの取り組み

定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業所の開設希望事業者を公募。介護が必要な人を訪問し、24時間通報を受け付け、入浴や排泄、食事等の介護や日常生活上の世話を、重度介護認定者の在宅生活を可能にするサービスです。

5 甲陽病院の外來診療

眼科外來を非常勤医師が行っていましたが、1月から常勤医師を配置し、婦人科でも4月から子宮がん検診が実施できる指定医療機関となり、市内で施設健診ができるようになります。

6 子育て支援の充実

市保健センター内に、4月から開設する子育て世代包括支援センターは、子どもたちが将来に夢と希望を持ち、心身ともにたくましい北杜の子どもを育てるまちを目指

し、「ほくとっこ元気課」として、運営に当たってまいります。

7 子育て支援住宅整備事業

子育て支援住宅・大泉団地は竣工式を終え、入居される18世帯の内、市外から12世帯の方が移住される予定です。また、武川団地は11月の完成を目指し、工事を進めています。

8 臨時福祉給付金

28年度分の市・県民税均等割非課税の方に、臨時福祉給付金を引き続き支給します。約1万2千人に支給を予定し、1人につき1万5千円を3月下旬から支給する準備を進めています。

9 健康と温泉フォーラム

昨年10月に増富ラジウム峡観光協会などと「健康と温泉フォーラム2016」を開催しました。地方創生推進交付金を活用し、増富地区の自

然環境やパワースポット等を生かした、新しい温泉地づくりのため、地域と共に取り組んでいきます。

10 芸術文化スポーツ

第11回北杜市合唱祭2016が開催され、これから上方落語会や警察音楽隊コンサート、スポーツでは親子スケート教室や峡北スケート大会などを開催。今後も一流の田舎まちとして、優れた芸術文化事業やスポーツの先進地を目指していきます。



親子スケート教室



公明党
うちだ としひこ
内田 俊彦

第2次総合計画と5つの主要施策は

多様な声を反映させる

- ① 第2次総合計画に、市長の5つの主要施策を現実させる協議のプロセスは。
 - ② 多様な考えを市政に反映させる取り組みは。
 - ③ 税込確保、市債の発行抑制、経常経費削減は。
- 市長** ② 地域に溶け込み、対話を通じて市政を運営する。
- 企画部長** ① 庁内会議で、前期基本計画と調整している。

③ 行政改革推進委員会の議論を踏まえて取り組む。

問 公共施設の今後は

- ① 学校施設、社会体育施設、生涯教育施設の老朽化は。
- ② 建て替え・改修・解体する必要のある施設は。
- ③ 公共施設管理計画は。
- ④ 合併特例債、過疎対策事業債発行による財政負担は。

⑤ 公共施設管理の計画作成は。

答 有利な起債を活用

- 市長** ④ 有利な起債。32年度が期限。最大限活用する。
- ⑤ 施設ごとの個別計画を立て、再編・複合化等を図る。
- 教育長** ① 明野総合会館などの集合施設を含め、公共施設全般の老朽化が進んでいる。
- ③ 小学校は保全化計画を策定。中学校も策定に努める。
- 福祉部長** ② いずみ保育園など建て替えも含めた検討を進める。



建て替えが望まれるいずみ保育園

問 中部横断自動車道は

- ① 公開質問状の回答と各候補の考えは。
- ② 早期実現に向けて、各種団体との連携と協力は。
- ③ 沿線自治体との連携は。

答 広域交流に寄与

- 市長** ① 開通の必要性について、真摯に回答した。私以外の2候補も概ね同様な考えだと認識している。
- 建設部長** ② 関係団体や沿線市町村と一致協力する。
- ③ 県内および南佐久地域等との提携に努める。

問 人材の育成・発掘は

- ① スポーツ少年団の指導者育成は。
- ② スポーツ少年団の統合は。
- ③ スポーツ少年団の交流事業は。
- ④ 市内スポーツ少年団の交流事業は。
- ⑤ 中学校の部活動の存続

は。

- ⑥ 中学校の部活動の外部指導者は。
- ⑦ 文化芸術活動充実のための施策は。
- ⑧ 女性を中心とした茶飲みサークルの開催は。

答 北杜市の「資源」を生かす

- 市長** ⑧ 気兼ねなく集える方策を検討する。
- 教育長** ① 研修会を開催。指導者登録手数料等を負担。
- ② 団員確保とともに、統合にも対応していく。
- ③ 活性化を図るため、姉妹都市等との交流促進に努める。
- ④ 異なる種目チームとの交流も視野に入れ協議する。
- ⑤ 合同チーム結成など、創意工夫し活動を存続させたい。
- ⑥ 小規模校が多い。地域の人材活用を図りたい。
- ⑦ 本市は、文化芸術の人材と施設に恵まれている。「資源」を最大限生かしていく。



北杜クラブ
あき やま とし かず
秋山 俊和

子どもたちに夢や希望が持てる北杜市は

地域の人材を活用

- ① 心身ともに健やかな学習環境の充実は。
- ② 奨学金・海外留学貸付金制度の創設は。
- ③ 郷土愛・人間力あふれる人材育成の推進は。
- ④ 中学校統合計画案の検証と再検討は。
- ⑤ 原っぱ塾、公営アカデミーの創設とは。
- ⑥ 生涯スポーツの充実は。

市長 ② 奨学金返済に関わる県の補助制度の周知を図る。海外留学貸付金制度について検討する。

④ 4校案の推進は困難。今後の方向性は、地域や保護者の意見を伺い、慎重に検討する。

⑤ 地域の人材、教員O Bなどの協力を得て、子どもたちへの学習支援や、多彩な体験ができる学ぶ機会を創設したい。

教育長 ① 体力づくりの

実践、地産地消給食事業の推進、いじめや不登校対策として「学校生活意識調査」の継続実施。市単補助教員やスクールカウンセラーの配置などによる教育相談体制の充実を図る。

③ 地域住民との交流を通じ、コミュニケーション能力を高め、卒業後も郷土愛にあふれ、たくましく未来を切り開く人材の育成に努める。

⑥ 指導者育成、スポーツ教室の開催、各種の大会誘致に力を入れる。

子育て世代に優しい北杜市は

- ① 子育て支援住宅の整備拡充は。
- ② 市立病院の婦人科、小児科の充実は。
- ③ 妊娠・出産・育児、切れ目ない支援体制は。
- ④ 保育サービスの充実は。
- ⑤ 子どもたちの交流・遊び場創出は。
- ⑥ 市民共同参加型子育て支援策とは。

答 「地域の子は自分の子」の意識で取り組む

市長 ③ 4月に開設する「子育て世代包括支援センター」を拠点に、子育ての各ステージの悩みや不安に対し、保健師や栄養士、臨床心理士などの専門職員が、必要な情報支援を切れ目なく提供できる体制を確立する。所管する課の名称は「ほくとっこ元気課」とした。

⑤ 既存の遊び場の活用、適切な維持管理に努める。

⑥ 地域の子どもを自分たちの子どもとして受け止め、子育てを喜びや楽しみと感じられるまちづくりを目指す。

市民部長 ② 4月から、「子宮頸がん検診」を甲陽病院で実施する。小児科医・産婦人科医の誘致にも努める。

福祉部長 ① 須玉団地では1年間で、6人が誕生した。武川、大泉団地の入居状況を見ながら、拡充を検討する。

④ 園児の受入れ時間の拡大、職員の待遇改善、老

朽化した園舎の改修等に取り組む。



元気にはばたけ「ほくとっこ」

問 優しさあふれ、健康で安心して暮らせる北杜市は

- ① 高齢者等への公共交通の充実は。
- ② 在宅訪問診療サービスの充実は。
- ③ 長坂駅エレベーター設置の予定は。

- ④ 福祉ボランティア活動拠点の整備は。
- ⑤ 障害者に優しい環境整備は。
- ⑥ 生活必需品の宅配サービスは。
- ⑦ 市立病院、診療所への先進医療導入は。
- ⑧ 在宅介護者への負担軽減策は。

答 公約実現に努める

- 市長 ② 在宅診療、訪問リハビリ・訪問看護等、患者のニーズを踏まえ、質の高いサービスを提供していく。
- ⑤ 支援センター「かざぐるま」の相談体制、福祉課への手話通訳者の設置、バリアフリー等のユニバーサルデザインに配慮したまちづくり等を推進している。
- 企画部長 ① 市民バスは車両を小型化し、2路線で地域内へ乗り入れ、南部巡回線の両回り化を実施している。
- 建設部長 ③ 11月18日、JRと「調査設計に関する覚書」を取り交わした。
- 福祉部長 ④ 社会福祉協

議会と協議して対応する。
産業観光部長 ⑥ 小売業者の意見を聞き、検討する。

市民部長 ⑦ 機器の整備とともに技術習得にも努める。
⑧ 策定の基礎データとするため、対象者にアンケート調査を実施し、支援体制構築に活用する。

問 地域資源を活用した北杜市は

- ① 農畜産物の付加価値を高めたブランド化の推進は。
- ② 新規就農者の育成と販路の確保は。
- ③ 就業促進住宅の整備は。
- ④ 既存企業発展のための情報発信は。
- ⑤ 里山整備による景観保全は。
- ⑥ 一体的な市内の観光地づくりは。
- ⑦ 若者、女性等への働き場所の確保は。
- ⑧ 地元食材を生かした滞在型観光地づくりは。
- ⑨ 集落営農組織の育成と法人の強化は。
- ⑩ 体験型観光と6次産業

の推進は。

答 商工・食農課を創設、観光課を独立

市長 ① 農業参入した企業の情報発信力を活用し、一層のブランド化に努める。商工・食農課を創設し、6次産業化を推進する。

④ 北杜市企業交流会と合同での就職情報の提供や、受入れ研修等を積極的に実施したい。

⑦ 農業系の企業を誘致、女性等の働き場所を確保したい。

⑨ 消費者ニーズを的確に経営に反映させるため、営農組織のネットワークを構築し、法人の強化に努める。

産業観光部長 ② 営農指導、販路拡大支援等に努める。

- ⑤ 95%を補助する「里山整備事業」制度の啓発・普及に努め、景観保存を図っていく。
- ⑥ 新年度から観光課を独立させて、観光施策の一体化を図る。
- ⑧ 宿泊事業者、生産者、

流通事業者が一堂に会し、活用策を模索し、滞在型観光地としての魅力を向上させたい。

⑩ 生産者などの受け入れ側とホテルなどの送り出す側が連携し、年間を通して計画的に推進したい。
建設部長 ③ 白州団地は、31年1月から入居の予定。

問 中部横断自動車道の早期完成は

- ① 救急医療施設への搬送路確保は。
- ② 災害時活用道路の確保は。
- ③ 日本の台所の産地化は。
- ④ 三大都市圏への物流の促進は。
- ⑤ ハイウェイオアシスは。

答 救急・災害面からも不可欠

市長 ① 救急搬送の面からも、早期開通が望まれる。

② 中央道の代替機能の観点からも整備は不可欠。
建設部長 ③ 輸送時間短縮、輸送地域拡大が見込まれる。

④ 全線開通は、日本の中部における高速道路のミッシングリング解消を意味する。新産業の拡大も期待される。
⑤ 高速道路側の休憩施設と一般道路側の物販施設の相互利用で、地域の活性化を図りたい。



早期着工を願う



ともにあゆむ会

はら
原

けんし
堅志

市長の市政方針は

主要施策を着実に実現

- ① 第2次総合計画への新市長の方針の反映は。
- ② 定住促進策は。
- ③ 第4次行財政改革大綱と新規事業の実現は。
- ④ 行政組織や分掌事務の見直しは。
- ⑤ 地域に足を運んで住民と語ることは。
- ⑥ 太陽光パネル問題についての所信は。

後、審議会やパブリックコメントでの意見を踏まえ、本年度内に策定する。

③ 財政基盤の強化を図るため、税収の確保、市債発行の抑制、経常経費の削減等の取り組みは、今後の行政改革推進委員会の審議を踏まえ、第4次行財政改革大綱に位置づける。

公約で掲げた5つの主要施策は、有利な起債を最大限活用し、事業の選択と集中を図り、重点的

かつ効率的な予算配分を行うことで、第2次総合計画に掲げる施策として、着実に実現させたい。

⑤ 子育て世代や高齢者等が集まる場所に出かけ意見交換を行うなどして、広く市民の声に耳を傾けたい。

⑥ 従来の方針を継承する。市の景観条例、設置に関する指導要綱、県のガイドラインに基づき対応する。

総務部長 ② 9月以降、

定住に関する施策の効果を検証するため、転入届提出時に、「移住を決めた理由」や「市の移住促進策の活用」等について、アンケートを実施している。今後の施策展開に生かす。

企画部長 ④ 機能性・効率性を重視した組織再編を進め、行政ニーズに対応する課の再編や担当の新設を行う。

問 小中学校の統廃合は

- ① 長坂小学校、統合後の課題は。
- ② 高根地区3小学校、統

廃合の進捗状況は。

③ 他の小学校の統廃合は。

④ 北杜市小学校施設中長期保全計画の策定は。

⑤ 学校統合に関わる審議会は。

⑥ 中学校統合計画案、地域住民の意見集約は。

⑦ 統合計画再検討は公約。今後の予定は。

⑧ 白州、武川地区に1校を残す考えは。

⑨ 小中一貫教育は。

答 慎重に検討する

市長 ⑦ 関係者の意見を聞き、慎重に検討したい。

教育長 ① 校区の拡大による、通学路の安全が課題。

② 7月、統合準備検討委

員会を立ち上げ、開校に向けて課題を検討している。

③ 現状では、統合の検討はしていない。

④ 本年度、計画策定のための業者選定プロポーザルを実施し、年度内の策定に向けて調査を行っている。

⑤ 他の小学校統合を検討していない状況で、審議会の立ち上げの必要はない。

⑥ 11月の定例教育委員会において、4校案には合意が得られていないと認定した。

⑧ 今後、保護者や地域の意見を聞く。

⑨ 全国的な事例・成果を検証し、校長会や教育委員会でも議論、検討したい。



中学校統合計画



問 市民・地域活動への対応は

① 中部横断自動車道八ヶ岳南麓沿線住民の会の、ニュース再掲示問題は、



展示スペース

- ② 図書館協議会の掲示の統一的な方針は。
- ③ 公共施設での掲示は。
- ④ 市民活動や地域活動への方針は。
- ⑤ 地域委員会の現状、区長会との関係は。
- ⑥ 行政区と加入促進は。
- ⑦ 地域活動の単位は。
- ⑧ イベント等の検討と地域活動への支援は。

答 柔軟性ある姿勢で臨む

教育長 ① 誹謗中傷を行っていないことや公序良俗に反しないことを前提に、掲示を受け付けることとした。

② 市民活動が活発な地域性もあり、現行の掲載優先順位に照らし判断することが難しくなっている。図書館協議会に新たな基準づくりをお願いしている。

総務部長 ③ 誹謗中傷や宗教・営利関連は除き、それ以外は各施設の判断に任せている。

- ④ 地域性を重視した市民交流等を支援している。
- ⑤ 地域委員会は市長の諮問機関として、合併時に設置した。区長は市の事務を補助連絡するため設置している。代表区長会は、行政区と本庁・支所の連絡調整を行う。
- ⑥ 希望者には、転入窓口で区長の連絡先を案内している。
- ⑦ 地域委員会や自主防災組織など、必ずしも行政

区単位によらない地域活動もある。適切に対応する。

⑧ 地域からの発案で、イベントを統合した経緯もある。引き続き地域委員の意見も伺いながら検討する。教育委員会でも、小規模グループ主催の講座や乗馬教室等への支援も実施している。

問 地上設置型太陽光発電施設は

① 太陽光発電施設の現状と移住促進は。

② 景観条例・指導要綱の実効性と「北杜市らしさの自然環境を守る条例」は。

- ③ パブリックコメントで寄せられた意見の反映は。
- ④ 近隣住民の資産価値と、住民・事業者への介入は。
- ⑤ 大滝湧水隣接地の計画の現状は。
- ⑥ 「地区」と「周辺」の範囲は。
- ⑦ 指導要綱に基づく届出と今後の把握は。
- ⑧ 改正FITを受けての対応は。
- ⑨ 太陽光発電施設への過

積載は。

答 粘り強く指導

建設部長 ① 移住促進、

二地域居住や観光客誘致は行政施策として取り組んでいるが、太陽光発電施設は、土地所有者や発電事業者が自発的に取り組んでいるもの。

② 上位法がなく法的拘束力のない中、限界はあるが粘り強く指導を行ってきた。「北杜市らしさの自然環境を守る条例」に關しては、次世代に引き継ぐべき財産であることから、施策検討の意向を示した。

- ③ 景観計画に数値化を求めめる声が多かったが、根拠とする法令がなく、盛り込むことはできなかった。
- ④ 資産価値は、さまざまな要因が絡み合い判断は難しい。話し合いの調整には対応するが、当事者間で私法上解決されるべき場合、介入は適当でない。
- ⑤ 事業者と合同区長会が

協議中。コメントは控える。

⑥ 「地区」は、行政班または区の区域内が基本。「周辺」は設備設置の近隣と考えている。

⑦ 5月末から11月末まで72件、5,587Kwの届出があった。新設については、パトロールの実施、景観条例に基づき確認作業を行っている。

⑧ 条例制定による規制にはさまざまな課題がある。関係法令が総合的に整備された段階で、再度検討したい。

⑨ 過積載は増改築に当たる。景観条例に基づく届出指導を行っている。



地上設置型太陽光発電システム



日本共産党

しみず 清水 すすむ 進

市の財政状況は

厳しさに対応 改革を進める

地方交付税は合併自治体への優遇措置期間が終わり、2020年度には、25億円の減額が予想されている。

一方、今年度の中長期財政見通しでは、2022年度の実質単年度収支は1億4千万円の黒字。市民生活向上に使えるのではないか。

市長 8月に示した「財政の中・長期的見通し」において、一定条件にお

総合戦略に掲げる施策を着実に実施して、市民生活向上に努める。

問 市民の暮らしと命を守る国保は

①一般会計からの繰り入れで、国民健康保険税を減額することは。
②資格証明書の発行をやめ、全員に保険証を発行することは。
③前年より所得が低下した場合、減免を定める条例の制定は。

答 負担の公平性を考慮

市民部長 ①一般会計からの繰り入れは、国の基準で実施している。国保税の軽減目的での繰り入れは、負担の公平性や受益者負担の観点から、好ましいことではない。
②資格証明書の廃止は、滞納世帯の実態把握の機会、納付の機会を少なくしてしまう。廃止は考えていない。
③各部署が連携、相談に応じている。会社員が病気や事故で、非自発的に

失業した場合は、軽減の対象となる。減免の条例は考えていない。

問 公共交通の整備は

①交通弱者へのタクシー券助成の拡充は。
②バスの通らない地域への、デマンドタクシーの運行復活は。
③免許返納者への支援は1回だけでなく、継続した助成措置を。
④市民アンケートを行い、要望を把握することは。

答 交通会議で方向性を検討

企画部長 ①福祉施策として、高齢者のみの世帯と重度心身障害者等に、利用料金の一部を助成している。交通弱者の基準を明確にすることは困難。公平性が確保できない。現在のところ拡充は考えていない。
②21年度から4年間、デマンドバスの実証運行を行ってきた。

経緯を踏まえると、再度の運行は困難。交通空白地域に住む高齢者等の交通弱者の対応については、北杜市地域公共交通会議において検討したい。
③65歳以上の市民には、安価で市民バス全線を1年間利用できる、福祉定期券の利用促進を図っていく。
④市民の代表や有識者で組織する、北杜市地域公共交通会議を設置している。必要に応じてアンケートを含め検討する。



早急に公共交通の整備を



明政クラブ
あい よし しょう いち
相吉 正一

市政運営の基本姿勢は

愛でつながらる北杜市

- ① 今回の市長選結果の受け止め方は。
 - ② 市長としての新たな決意は。
 - ③ 「多様な考え方や価値観を政策に生かし、愛でつながらる北杜市を目指す」とは。
- 市長** ①選挙中、多くの市民と接し理解を深めた。今後は、市民の気持ちを一つにすることに努め、市政運営に当たっていく。
- ②5つの主要政策、子育てと福祉、雇用、教育、

- スポーツ、女性の活躍に取り組む。
- ③市民参画の意識を高め、血の通った行政運営を目指す。
- 問** 太陽光発電施設への対応は
- ①地上設置型太陽光発電施設に対する見解は。
- ②未稼働事業予定箇所の確認と住民への周知は。
- ③大規模メガソーラー計画は。
- ④4月から、設備認定情

報が公開される。市の対応は。

答 地域と自然に配慮

- 建設部長** ①地域との協調、自然環境に配慮して対応。
- ②④認定情報の確認作業を進め、合意形成にも努める。
- ③設置希望の事業者から、概要の説明を受けた。



求められる自然との調和

問 高齢者が利用したい市民バスの運行は

平成29年3月、75歳以上の「認知機能検査」の強化を盛り込んだ、改正道交法が施行される。免許取り消し、自主返納の増加に対応する必要がある。市民バス路線の拡大、デマンドバスの一部復活など公共交通整備は。

答 地域での助け合いを

企画部長 国・県の動向を注視、交通会議で検討する。

問 大雪対策は

- ①主要道路の除雪状況の防災行政無線での周知は。
- ②除雪の優先順位と地域への周知は。
- ③通学路の除雪は。
- ④除雪機の活用調査・指導は。

答 迅速に対応

総務部長 ①通行止め等、雪害時には周知する。

- ④平成28年1月18日の大雪時に地区で活用、延べ171日使用。

建設部長 ②幹線道路優先だが、効率的にルート選択。

③学校関係者と連携、迅速に対応している。

問 選挙公報のあり方は

市長選挙・市議会議員選挙の選挙公報が配布されたのは、投票日の直前だった。期日前投票者の情報不足などが憂慮される。見直す必要は。

答 条例に基づき配布

総務部長 条例に基づき、投票日前日までに配布している。印刷、配送等の事情で、期日前投票開始時に選挙広報が間に合わないことはご理解いただきたい。



ほくと未来
ふくい としかつ
福井 俊克

市政方針は

公営アカデミーを
創設する

- ① 市民みんなが参加できるまちづくりは。
 - ② 高齢者福祉、障害者福祉は。
 - ③ 実践型地域雇用創造事業の内容は。
 - ④ 体育協会、スポーツ少年団への支援は。
- 市長** ①多くの市民がまちづくりに参加できるように、公営アカデミーの創設を考えている。地域の人材を活用し、子どもたちへの学習支援はもと

より、地域文化や歴史など多彩な学びの場を提供し、社会教育による「原っぱ教育」の充実を目指す。

② 高齢者の技能・知識を子どもたちに伝えることによる生きがいづくりを、老人クラブと検討して進める。また、農業者と福祉関係者の連携による障害者の社会参加の拡大に取り組む。

③ 厚労省の委託事業。農

業、観光、商工業を重点事業分野に設定し、事業者向け人材確保セミナーや、求職者向けの人材育成セミナー、合同就職面接会などに取り組み、109人の雇用創出を目指す。

教育長 ④運営や活動の支援を継続し、指導者育成、合宿や大会の誘致に取り組み「スポーツの先進地」を目指す。



スポ少で将来託す子ども達

問 職員の労働条件改善は

- ① 代替休暇の基準は。
- ② 代替休暇の付与日数は。
- ③ 自由選択性の実施状況

は。

④ 不払い残業の実態は。

答 前向きに検討

総務部長 ①②有給休暇取得が上限日数を下回っている現状では、職員組合と代替休暇協定を締結していない。

③ 職員組合と協議し前向きに検討する。

④ 足切などの上限額の設定はないものと考えている。満額を支給している。

問 消防団の活性化は

- ① 消防団員数の適正規模は。
- ② 職員の消防団加入は。
- ③ 検討委員会の提言内容と対応は。

答 処遇改善と技術向上を図る

市長 ③ 女性団員の採用、自主防災組織・企業との連携、団員の処遇改善と技術向上等の提言を生かして取り組む。

総務部長 ①1,884人の団員定数は、適正数を

確保しているが、団員減少が課題。

② 市職員の140人が入団している。重要な地域活動として加入を勧奨している。

問 防災ラジオの活用は

- ① エフエム八ヶ岳との放送契約内容は。
- ② 防災ラジオの普及促進は。
- ③ 定時試験放送の実施は。
- ④ 防災ラジオの普及の課題は。

答 普及促進を図る

総務部長 ①今年度、有事の緊急割込み放送協定を締結、市から直接放送ができる。

- ② 市民への補助金交付は104台。消防団等への貸与168台。防災無線の補完伝達手段として普及を促進する。
- ③ 毎月最終月曜日、昼12時に生放送で実施。
- ④ エフエム八ヶ岳と協議し、FM電波の受信困難地域解消に取り組む。



三世代交流施設で子育て支援

建設部長 ②多極型など、市の実情を考慮する。

市長 ①全国に誇れる各エリアの特徴を生かし、地域と事業展開に取り組む。

問 ①祝日や日曜日でも、児童支援施設で受け入れ体制をとれないか。

②各学校をつなぐ架け橋として、相談員設置は。

相談にも対応する

福祉部長 ①支援員の確保が必要だが、現状では厳しい状況。子育て会議等の意見を聞き検討する。

教育長 ②指導監1名と指導主事1名を配置、学校を通じての相談や、保護者・生徒からの相談に



秋山 真一
(北杜クラブ)

子育て世代の支援環境は

も直接対応している。

三世代同居家庭は

問 ①三世代同居家庭の促進は。

②減税や給付金など、行政と民間が協力したサービス提供は。

優遇措置を促進

福祉部長 ①家族支えあいができ大切。

②三世代同居も住宅増築やリフォームに助成。税制上の特例措置もあり制度活用を促す。

市の将来都市像は

問 ①農・商・工・観光など推進エリア制定を。

②コンパクトシティ化は。

市長 ①全国に誇れる各エリアの特徴を生かし、地域と事業展開に取り組む。

鳥インフルエンザの危機管理体制は



藤原 尚
(北杜クラブ)

問 平成22年に高病原性鳥インフルエンザが多発した。国は特定家畜伝染病指針に基づき、業務の停止措置を講じ発生を収束させたが、大きな混乱や経済的損失が生じた。

28年11月には、青森県・新潟県でも、家禽農場と養鶏農場で32万羽以上が殺処分され埋却されたが、市管内で陽性反応が確定された場合の危機管理体制を問う。

①養鶏農場の戸数、場所、羽数、焼却埋却場所の確保は。

②危機管理対策本部の設置、組織設定、作業員の確保は。

国・県と連携し組織編成

産業観光部長 ①市内養鶏場の場所と戸



健康に飼育されている養鶏

数、羽数は、明野町3、須玉町1、高根町7、長坂町1、小淵沢町1、白州町10、武川町2の合計25戸、38万羽余を飼育。埋却場所は24戸が確保し1戸は未定。県と連携し確保を飼育農家と協議中。

②国・県と連携し、市長を本部長とした組織を編成。総務・防疫企画・移動規制・健康管理の各班を設置する。市の対策本部は産業観光部を中心に編成され、鳥インフルエンザ発生時は、畜産団体やJ・A・農業共済組合と連携し人員を確保する。

商工業振興は



井出一司
(北杜クラブ)

問 ①積極的に頑張る事業者支援で、市の活性化と経済発展を図る必要がある。北杜市経済を担う小規模企業者を金融面から支援し、利子補給規程の従業員規模の拡大見直しと、支援をする考えは。

②地域資源を生かした特色ある北杜市づくりは、農商工連携を強力に推進することで、活性化や経済発展につながる。総合計画基本構想で、ブランド化や高付加価値の農商工が立地する産業都市形成がうたわれているが、早急に取り組む考えは。

支援対象拡大を検討

市長 ①制度の対象者は小規模企業者で、常時雇用従業員数20人（商業・サービス業5人）以下が対象。



農商工連携のスイーツ

昨年度実績は359事業者に対し、1,859万円の利子補給金を支給している。持続的・安定的な事業継続を支援し、企業自体の発展を支援する必要性があり、支援対象の拡大を検討していく。

産業観光部長 ②地産地消を推進し、農産物加工でブランド品として、情報発信できる組織作りを行っている。今後、農業者と商工業者等のマッチングを進め、農商工連携や、6次産業化の取り組みを支援していく。

甲斐大泉駅周辺の整備計画は



齊藤 功文
(うせにめむち会)

問 小海線沿線の活性化策は、観光振興や魅力ある観光地PRの上で、市政の重要施策だ。

①市内観光地の公衆トイレ整備は非常に重要だ。甲斐大泉駅構内の公衆トイレ整備計画は。
②大泉駅前児童館・カラマツハウスの、解体後の跡地活用はどうなるのか。
③甲斐大泉駅周辺には、八ヶ岳いずみ荘やパノラマの湯、直売所等がある。これらの観光施設を最大限に生かすため、現在の支援状況と関わりは。

利便性向上のため連携

市長 ①公衆トイレは現在、既存トイレを多目的

トイレに建て替える計画で、実施設計が終了し、来年度整備に着手する。



活用待たれる児童館跡地

産業観光部長 ②大泉駅前児童館・カラマツハウスの跡地利用は、県有地のため県と協議を進めている。

③甲斐大泉温泉パノラマの湯と八ヶ岳いずみ荘、大泉駅前観光案内所は、現在、指定管理者制度で活用運営を行っている。甲斐大泉駅は北杜市観光協会が、JRの委託を受け切符等を販売。パノラマ市場は独自で直売所を運営している。市の主要な観光地であり、情報交換を行い、利用者の利便性向上が図られるよう連携していきたい。

自主避難者住宅無償支援打ち切りは



栗谷 真吾
(うせにめむち会)

問 政府は、福島第一原子力発電所の事故で、自主避難された方の住宅無償支援策を、28年度で打ち切ると決めた。

①市内の自主避難者数および、現状をどの程度把握しているか、また他自治体の支援策の把握と調査は行っているか。
②市はこの問題をどう捉え、来年度以降の方針を決めるつもりなのか。
③避難から移住に移行できる環境づくりが求められる。空き家の活用も視野に入れた支援を行う考えはあるか。

できる限り支援する

市長 ③市営住宅入居者

も含め、移住・定住希望者にはできる限り支援をしている。空き家バンク



福島保養キャンプの様子

建設部長 ①②東日本大震災で、市に156人が避難していたが、現在、市営住宅入居者は7世帯15人。意向調査の結果、継続して入居希望の方は、5世帯11人、退去希望者は2世帯4人。

市外では県営住宅2世帯、韮崎市の市営住宅3世帯、西桂町の町営住宅1世帯、身延町の町営住宅に1世帯が入居で、継続して入居を希望している。県内自治体と同様に、一般的な入居手続きを進めていきたい。

公共交通の再構築は



岡野 淳
(うせにめむち会)

問 ①市は一貫してデマンドバスの再運行は考えていないと言いつながら、市内全域を路線バスで対応するには限界があると認められた事をどう考えるか。

②デマンドバス利用の際の負担の差と、廃止との因果関係は。
③市議会が運行継続廃止を決めたと言うが、市民のためになつていなければ見直す勇気が必要では。
④バスの利用エリアがあり、バス停まで行けない人がいる。高齢化で車の運転ができない人が増えるなどの現実に対策は。

公共交通会議で検討

市長 ②負担の差が廃止

の直接要因ではない。企画部長 ①市内全域を、市民バスのみでカバーす



玄関先まで来てくれる

ることは限界がある。地域での取り組みをお願いし、今後の公共交通の整備は国や県の動向を注視し、「北杜市地域公共交通会議」で検討したい。
③市議会でも慎重審議の上廃止したので、現在のところ見直しの考えはない。
④現在、本市には公共交通の方向性を明らかにする指針や計画がない。今後、新たな公共交通の整備を進めるために、地域公共交通網形成計画という計画の策定を検討中。計画・実施に向けて対応したい。

一般質問

市長 ①自由に伐採や枝打ち等はできないが、国や県と連携し山頂や展望地点を保全整備する。

国・県と連携し整備

問 ①観音平をはじめ、展望・眺望のための保全整備は。
②登山者の安全のため登山道整備は。

山岳景観の保全整備は

問 ①観音平をはじめ、展望・眺望のための保全整備は。
②登山者の安全のため登山道整備は。

計画伐採を県に要求

問 ①雑木伐採計画は。
②薪利用の推進は。
③防災減災効果の検証は。



進藤 正文
(公明党)

河川敷の雑木除去は

産業観光部長 ②県が主要登山道を整備、市は点検や看板設置など整備。

鳥獣害防止対策は

問 ①猟友会の銃免許に対する経費補助は。
②射撃場整備に対する県への要望と現状は。
③わな免許取得と猟友会の連携は。

産業観光部長

①補助率50%以内、3万円補助。
②新射撃場整備に関する方針をまとめる。
③免許取得に補助、地域と猟友会の連携を図る。



雑木伐採が急がれる市内河川敷

市長の政治姿勢は



志村 清
(日本共産党)

問 ①政府は南スーダンへの自衛隊派遣を強行した。市長の見解は。

②高齢者の医療費負担拡大や、介護保険制度の給付対象縮小などを計画している。見解を求める。

制度持続が重要な課題

市長 ①9月市議会の請願可決は厳粛に受け止める。駆けつけ警護など新任務が実施可能だが、自衛隊の安全確保は、国で議論されると考えている。

市民部長

②被保険者の増加に伴い、医療費は伸び続ける。制度の持続が重要な課題で、なお一層介護予防事業に力を入れていきたい。

子ども医療助成拡大を

問 子ども医療費窓口無料制度は中学3年生まで

だが、高校3年生まで拡大した場合の経費と、拡大する考えはあるか。

高3まで拡大は不平等

福祉部長 高校生の医療費は正確に把握できないが、中学生の助成額は1年間で約2、100万円の支出。高校生も同程度の額が必要と予想する。高3までの拡大は、中学校卒業後に進学や就職など、個々の生活に差異が生ずるため、平等な子育て支援とならず、現時点では考えていない。



介護事業所(須玉町内)

教育行政は



清水 敏行
(無会派)

問 教育の主役は子ども一人ひとり。充実した教育環境を考えると、社会問題となっている「いじめ」問題対策が急務だ。

①教育方針の考え方は。
②これまでの学校・家庭などへの主な取り組みは。

迅速な対応が重要

市長 ①学校や教育委員会の対応の検証や、事件発生後の対応方針・再発防止策の検討等について議論を行い、迅速な対応を行うことが重要と考えている。

教育長

②適応性や友人関係の形成などを学級毎の調査で把握し、いじめ発生防止に努めている。家庭でもスマートフォン利用についてルールづくりをお願いした。

今回の選挙について

問 ①市議選投票率はアップしたが、無効票が増加した。原因の分析は。

②投票弱者に対する工夫、市の実情や今後の目標は。
③投票率アップの具体的な考えは。

投票弱者にも配慮する

総務部長 ①さまざまな要因が想定され、有権者の考えを特定することは困難。記載誤りなど周知可能。制度周知に努める。
③啓発活動の充実を図る。



投票率日本一をめざして

地域の皆さまと
語る場を持つとは



池田 恭務
(無党派)

問 所信で地域の皆さまと語る場を持ちたいと言われた。小学校区単位で毎週実施した市長の事例もある。ツイッターも一つの手法。災害時に効果的であったとの報道も。

市長 ツイッターなどの活用は、市民と情報共有する一つの方法だが、個人アカウントの使用は考えていない。防災行政無線や緊急速報メール等で情報発信していきたい。

SNSは使用しない

地域防災は

問 ①市防災計画の有用性と課題は。

②避難場所市民理解度は。

避難場所を周知徹底

総務部長 ①有事の際の



地域に愛される学校

有用な計画。自助・共助を促進する。
②市民の生命等に関わる重要な事項。引き続き周知を徹底したい。

資料公開は

問 「北杜市審議会等の会議の公開に関する要綱」で傍聴人に会議資料を提供するとなっている。これに鑑み、資料を公開すべきと考えるが見解は。

資料配布は慎重に

教育部長 今後は、教育委員会において慎重に検討したい。

議会のうごき

.....11月.....

- 18日 後期高齢者医療広域連合議会全員協議会・定例会
- 30日 第1回臨時議会

.....12月.....

- 1日 第1回臨時議会
- 5日 議会運営委員会、全員協議会、広報編集委員会
- 7日 第4回定例会開会
市長所信表明 議案説明
- 9日 議会運営委員会
- 12日 総務常任委員会
議会運営委員会
- 13日 文教厚生常任委員会
- 14日 経済環境常任委員会
- 16日 全員協議会
- 21日 本会議 代表質問
- 22日 本会議 代表質問 一般質問
- 26日 本会議 議案審議

.....1月.....

- 7日 新年互礼会
- 8日 消防団出初式、成人式
- 11日 広報編集委員会
- 16日 広報編集委員会
- 18日 全員協議会
- 20日 広報編集委員会
- 30日 峡北広域行政事務組合議会全員協議会・臨時会

峡北広域行政事務組合議会報告

10月24日に第2回定例会が開催され、認定案件等8件について審議し、原案どおり認定・可決されました。

■平成27年度決算認定

- ▶一般会計
- ▶常備消防特別会計
- ▶ごみ処理特別会計
- ▶し尿処理特別会計

■平成28年度補正予算

- ▶一般会計
- ▶常備消防特別会計 (第1号)
- ▶ごみ処理特別会計 (第1号)
- ▶し尿処理特別会計 (第1号)

後期高齢者医療広域連合議会報告

11月18日に第2回定例会が開催され、承認案件等5件について審議し、原案どおり承認・認定・可決されました。

■承認(専決処分)

- ▶平成27年度特別会計補正予算(第3号)

■平成27年度決算認定

- ▶一般会計
- ▶特別会計

■平成28年度補正予算

- ▶一般会計(第1号)
- ▶特別会計(第1号)

訂正とお詫び

議会日より48号に誤りがありました。

3ページの議案と審議の記事中、3カ所の事業名・金額・内容部分が入れ替わっていました。訂正してお詫びします。正しくは、

高根ラインガルテン体験棟整備事業費	2,100万円	体験棟増築工事
就業促進住宅整備事業	1,527万円	土地購入・造成工事の追加
予防接種事業費	241万円	定期予防接種にB型肝炎ワクチンの導入



豆まきで福を呼ぶ

声のひろば

地域の魅力は 身近にある



さいとう 斎藤 ゆう
高根町

いろいろな人が交差する町は、不思議と新しい文化が芽生えます。

数年前から近所の人たちとワイン用ブドウ栽培を始めました。1年を通して育てたブドウを委託醸造してワインにしています。現在では地元の人と一緒に、新しく移住した人や都会の人たちがブドウ栽培を通してふれあい、また新たな化学反応が生まれ始めています。ここで生まれ育った子どもたちをも巻き込んで、大人たちが面白いことをしているな、と思わせるのも目的の一つであります。地域の魅力は身近にあるのだと、まずは大人が生き生きと楽しむことが大切であり、そのことが人から人へ伝達して、北杜市の魅力の発信になるのではないのでしょうか。

市が誇る財産を 利用し難問解決



こばやし 小林 正吾
白州町

白州町に来て40年になります。その間、うちの組は3軒も空き家になってしまいました。

少子高齢化、空き家問題、日本が抱える問題、そのものずばりを北杜市も抱えています。私自身も65歳になり、勤めを退職してこれからのように生活していくか、暗中模索しています。田と畑で米・野菜を作っています。もつと市のことを知ろうと、いろいろな所へ行ってみました。市が誇る日照時間日本一、日本一の名水の里、八ヶ岳、甲斐駒ヶ岳等の山々、本当に素晴らしいところです。この財産を利用して、この難問を解決していただきたい。素晴らしい未来を築けるよう、市長・市議会議員の皆さまに頑張ってください。期待しています。

ほこれる自然



なかざわ 仲澤 幸雄
明野町

日本一の日照時間を誇る、茅ヶ岳の大地に農地整備がされ、大型トマト栽培施設や健康野菜施設、ブルーベリー農園、ブドウ栽培、旧フラワーセンターやキャンプ場など、自然にあつた政策が推進されていると思慮されます。

立地に恵まれ、一流の田舎まちならではの人間性と自然景観が良く、市内のほとんどの所から南アルプス、八ヶ岳、富士山、茅ヶ岳が見え、各エリアを未来につなげる施策として、エリア別の観光客の誘致活動を、行政と地域が協力する方向性こそが、財政を豊かにするものと確信しています。市の魅力は自然環境であり、これの保護と保全が太陽光問題もあり、より一層複雑化しており、議会の皆さま方には良き導きを切望します。

安定した 地域医療のために



しみず 清水 嘉基
長坂町

生まれ育った長坂町に歯科医院を開業し、17年目となりました。

患者さまの口の健康に対する関心は年々増しており、親御さんの関心の高まりに比例し、実際に子どももの虫歯罹患率は減少し、良い傾向にあるといえます。しかし、超高齢化社会が問題となっている昨今、在宅・訪問医療は不十分であり、当院も現在、訪問診療は行えておりません。その第一の理由は、歯科衛生士の慢性的な不足です。医科でも看護師の不足は深刻であると聞きます。北杜市の医療従事者不足は待ったなしです。山梨県歯科医師会でも長年取り組まれている課題ですが、地域医療安定のため、今後も官民一体となって、さらなる改善を進めることが重要課題と感じております。

出初式

ほくと議会だより vol.49
HOKUTO GIKAI DAYORI



あいさつする中嶋議長



観閲する副議長・総務常任委員

編集後記

議員改選が行われ広報編集委員会の委員も新しくなりました。

「議会だより」が市民に「行政・議会の今取り組んでいるテーマや議会の姿勢」など、明確な問題意識を持ちながら、どのような議会だよりを期待しているのかという問いに向かい合い、議員としてのたゆまぬ努力こそが、少子高齢化社会において明日のまちづくりを支える原点であると考えます。

私たちの議会だよりが市民と「ともに北杜市をつくっていく」ための架け橋になるため、編集と内容については、批判と意見がなければならぬと思います。このような意味から、ぜひ積極的なご意見をお寄せください。

次は50号になります。今後とも市民に親しまれる議会だよりにしていきたいと思います。



議会広報編集委員会

委員長 原 堅志

副委員長 井出 一司

委員 進藤 正文

委員 栗谷 真吾

委員 池田 恭務

委員 秋山 真一

委員 藤原 尚

委員 志村 清

委員 齊藤 功文

表紙の写真

遠照寺のアカマツ

「鶴亀のマツ」もしくは「夫婦マツ」ともよばれるアカマツの2樹。

その美しい樹形と大木であることから昭和45年10月、県指定天然記念物に指定された。

(須玉町穴平2600)